

陳情第 2 1 6 号	受理年月日	令和 6 年 1 0 月 1 日
付託委員会	教育文化委員会	
件 名	初代門司駅遺構の発掘調査について	
要 旨	<p>私は小倉南区の住人であるが、明治期に造られた初代門司駅遺構が昨年見つけたことを知った。日本の近代化を象徴する貴重な遺跡だとして、16の学術団体が保護を求め、世界文化遺産の候補にもなり得るとの指摘もあっている。</p> <p>しかし、市は現地に公共施設を建てる計画で、秋にも遺構を壊そうとしている。世界文化遺産の審査にあたる国際記念物遺跡会議（イコモス）は、解体中止を求める緊急声明「ヘリテージ・アラート」を発出した。</p> <p>本市は、明治時代に建てられた八幡製鉄所を中心とする産業都市として栄えてきたが、現在は、国内外からの観光客誘致にも力を入れている。私は旅行業の資格を持っているが、遺構が世界文化遺産にでもなれば、8県11市にまたがる世界産業遺産の官営八幡製鉄所の比ではなく、強力な観光資源になるはずである。</p> <p>日本を代表する現代詩人の平出隆さんは、遺構の発見を「恩寵（おんちょう）のよう」と発信している。古代ローマの遺跡「フォロ・ロマーノ」を国際的観光地に育てたイタリアを見習い、行政は歴史遺産を尊重し保護していただきたい。ついでに、重要な遺構にもかかわらず、これまで文化財保護審議会が開かれていないと聞いているので、当該審議会へ諮問し、専門家で審議をしていただきたい。</p> <p>また、本市の世界遺産にもなろうかという貴重な遺跡について、門司区の大多数の市民も含め、私の区を含む6区では、市政だよりに一度載っただけでほとんど知らされていない。令和6年4月8日付の県作成の市との協議議事録、「北九州市旧門司駅駅舎の対応に係る協議」書には、市は「地元説明は、4・5月に区ごとに市民説明会を開催し、丁寧な説明を行い、理解を得る」とも記載されている。遺構の詳しい価値を理解して、現地保存の要否について市民自身が判断すべきだと思うので、遺</p>	

(続 く)

構の発掘内容と価値について、小倉南区を含め、各区で市民説明会を開催していただきたい。